

さらなる会の 持続可能な発展をめざし

会長 大家重明

兵庫県青年洋上大学同窓会の組織活動は継続します。皆さんもご承知のとおり、洋上大学事業は行わないとの方針決定がな

兵庫青年洋上大学同窓会の組織活動は継続し、その幕を下ろしました。それにより、新規の会員が見込まれない状況となる中、今後の同窓会のあり方について、洋上大学同窓会の評議員会、地区代表者会において、協議を行なって来ました。私達は、「素晴らしい仲間との出会いがあり、その体験を活かして今がある…」等、活動を通して多くの会員の皆さんから「こころ」の声を聴いてまいりました。その声には、この事業が半世紀にわたり実施されてきた意義の大きさを改めて感じています。また、県下及び県外でもその経験を活かし地域に還元し活動を展開している「仲間」も数多くいます。その仲間の思いを込め、会組織のあり方について意見交換・協議を行い、地区代表者会において、今後の組織活動は当面現状

を継続することとなりました。しかし、私たちの同窓会は、事業が無くなったことにより、会費、財源、活動内容はもとより、会則、会員、運営体制等、同窓会組織として課題の検討・見直しを迫られています。今後のあり方について、皆さんの声を聞き協議を行ない、その方向を決めて行きたいと思えます。「こころ」と「なにかま」、その原点を振り返り、私たち洋上大学同窓会でしか出来ない活動を、事業の素晴らしさを肌で感じている会員たちからこそ出来る活動を求め、会のあり方を考えて行きたいと思えます。洋上大学同窓会があることを発信し、皆さんと共に活動を推進して行きましょう。これからも、ご支援ご協力をお願いいたします。

発行所
兵庫県青年洋上大学同窓会
〒650-0011
神戸市中央区下山手通4-16-3
兵庫県民会館7階
TEL&FAX:078-891-7419
URL :http://hyogo-yodai.net/
E-MAIL :info@hyogo-yodai.net
発行人：大家 重明



洋大五国めぐり 但馬へん 海と星空と地底の旅を満喫する

酷暑猛暑でどうしようもない今年の夏、台風7号が運よくそれた隙を縫うようにして松本さん一家と小林さんご一家、同窓会員の田中さん親子と近藤さん上田さん。スタッフの大家会長と春名監事。そして不滅の但馬地区代表者こと村上が8月17日と18日の二日間、心のオアシス但馬の旅を楽しみました。まずは竹野海岸宇日(うい)の入り江でカヤック体験。ここは「但馬自然史研究所」さんが基地にしている入り江で台風の影響によるうねりが大きいため港の外に出ることが出来ませんでしたが、研究所の皆さんのおかげで磯の生き物観察をさせてもらっておい

に楽しみました。夜は但馬長寿の郷に宿泊して夕食の後、ロッジから歩いて標高200mの「天文館バルーンようか」で星空を観察しました。地元養父市に暮らしながらこんな立派な天文台が市内にあるとは……翌日は養父市内最奥地の明延鉱山の探検坑道で地底の旅です。総延長550km最大高低差千mを誇る鉱山の坑道は真夏でも14℃という寒いような気温を保ち展示されている機械の多くが往時の鉱山の仕事をしのばせてくれました。また電球の光の届かない暗闇がどこまでも続くかに思える風景に探検心をくすぐられるものがあり地元区長さんの丁寧な説明に一同真剣に耳を傾けていました。淡路の田中さんの息子さん(小学3年)には少し難しかったかなと思っていたのですが、後で「明延鉱山が一番すごいと感じた！」との感想をもらっていたと伝え聞き嬉しく思いました。予期せぬアクシデントにもやたらと恵まれた二日間ではありましたが、参加者はもちろんのこと関係してくださった皆さんの善意に支えられてとても楽しい旅となりました。感謝です。村上隆司(兵25但馬)



平成17年、参加者募集の記事を見た母から勧められ、当時まだ大学生だった私は、事業目的等よく確認もせず、友人を誘い、旅行感覚で参加しました。出身地も年齢も異なる人たちとの旅に緊張や不安はありましたが、同じ体験を重ね語り合ううちに、仲間としての絆が深まっていきました。また、中国でのホームステイや学生との交流、グループのリーダー等、貴重な経験ができました。気付けば「世代間交流、国際交流、青年リーダー育成」という目的を果たせるよう導かれており、自分の未熟さと可能性を感じる事ができた素晴らしい旅となりました。今、記憶を辿って浮かんでくるのは、出会えた仲間の笑顔です。今も皆がそれぞれのステージで活躍し、笑顔でいることを願っています。これからも続く縁に、感謝の意を込めて。武田今日子(兵29淡路) ※次回は石山歩さん(兵29阪神)です。

えにし 縁

～県下各地で様々な活躍する同窓会員を訪ねて～

バレーボールで繋ぐ 想いは未来へ

会員の皆さんの中には、同窓会以外に活動の基盤を持ち県下各地でご活躍されている方も大勢いるかと思えます。

今回は、そうした会員の一人で、加古川市内で小学生にバレーボールの指導を続けている大加茂健二さん（兵29東播磨）の活動を紹介します。



東播磨地区で代表を務めています大加茂健二です。私の活動は、「小学生へのバレーボールの指導」です。今ではすっかり自分がボールみたいな体型となつていますが、学生時代はバレーボールをやっていました。ご縁があつて小学生に教える事になったのですが、経緯からご紹介します。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

1. 指導へのあこがれ
私は中学生からバレーボールを始めたのですが、当時指導をしてくれた先生の姿を見て「自分も将来はバレーボールを教えたいなあ」と思い始め、将来の仕事は「中学校の先生」と思い描いて

いました。教育大学または教育学部のある大学へ進もうとしていたのですが、受験に失敗して大阪のとある私立大学へ進学。教員をあきらめて民間企業へ就職しました。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

2. 指導者への導き
社会人になつてから、指導への憧れも半分忘れていたのですが、社会人2年目に転職が訪れます。突然、中・高・大と一緒にの腐れ縁の後輩から電話がかかつてきました。後輩「僕がバイトしている所で、バレーを教えてくれる人がいないか探しているんですが、大加茂さん教えてあげてくれませんか？」

久しぶりの電話でいきなり何を言ひ出すんだ、この後輩は。私「いやいや、お前が教えたならええやん」後輩「いや、僕就職したら全国転勤があり得るので、無理なんです」私「とりあえず1回見に行くわ」で、見に行つた所から指導者としての活動がスタートします。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

3. 指導は難しい
そんな経緯を経て、2002年の12月から加古川市内にある小学生のバレー

ボールチームにて、監督としてバレーボールを教え始める事になりました。最初に思い描いていたルートとは異なる形にはなりませんが、結果的に教えるという立場になることができました。

学生時代にはそれなりの成績を残していた事もあつて、変に自信もありましたし、絶対に強いチームを作るぞ！という意気込みもありました。当時は本当に天狗になつていたと思います。

が、憧れだけでは強いチームはできない事を痛



いほどに突き付けられました。難しいことを言っているつもりは全くないのに、自分が言つた事が理解してもらえない。「何でこれが分からへんねん！」と言葉にも態度にも出してキレた事が、何度も何度もありました。結果、試合にも負け続ける始末…。

対戦いただいたチームの監督さんには申し訳ないのですが、「何でこんなチームに負けるねん！」と思うことも多々ありました。伸びきつた鼻っ柱をポキポキに折られました。

自分なりに考えてみた結果「謙虚になる」「子供目線で考える」という事に行きつきました。

「謙虚になる」のは、変な自信をいったん横に置いておいて、強いチームを率いている監督さんに素直に教を請う事。強いチームの監督さん達は、とにかく子供たちを良く見ているので、一人一人の良いところ悪いところもすぐに見抜けているようでした。

「子供目線で考える」のは、どんな言葉を使えば伝わるかな？理解してもらえないかな？と、いろいろと考へて、できる限り簡単な言葉を使うように変えてみたところ、徐々に子供たちに伝わるようになっていきました。試合でも

少ずつ勝てるようになって、自分の中でもやりがいを感じられるようになっていきました。自分の師匠でもある中学校の顧問の先生も「10年くらい経つてから、やっと教え方がわかつてきた」とおっしゃつていたので、その言葉どおりだと思ひました。ここ10年くらいは、大会に出ても大体上位には残れるようになってきています。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

5. やれる限りは
気づけば20年以上（洋大の同窓会の活動は18年）バレーボールを教えています。微力ながらも子供たちの育成という部分で貢献できているかな、なんて事を思っています。

先日のパリ五輪では男子も女子も出場し、日本国内では新たに「SVリーグ」がスタートして、日本国内でのバレーも盛り上がりを見せているんです。そのうち、教える子の中で日本代表になるような子が出てきたらいいな、なんて本心に夢見たいな事を思っています。が、今後もやれる限りはバレーボールを教えていきたいと思つています。

くつた瞬間ですね。自分でプレーするのは、人に教える事は全く別物で、人に教えることは難しいと痛感しました。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

4. 自分らしい教え方でも強いチームを見てみると、やっぱり自分のチームと何が違う。強いチームの練習や試合をよく見て研究するようになりました。

自分なりに考えてみた結果「謙虚になる」「子供目線で考える」という事に行きつきました。

「謙虚になる」のは、変な自信をいったん横に置いておいて、強いチームを率いている監督さんに素直に教を請う事。強いチームの監督さん達は、とにかく子供たちを良く見ているので、一人一人の良いところ悪いところもすぐに見抜けているようでした。

「子供目線で考える」のは、どんな言葉を使えば伝わるかな？理解してもらえないかな？と、いろいろと考へて、できる限り簡単な言葉を使うように変えてみたところ、徐々に子供たちに伝わるようになっていきました。試合でも

淡路 アスパ五色で 二度目のパークゴルフ大盛会

6月2日(日)午後1時から、動く汗ばむ中、老若男女参加者17名、プレーヤー15名にて、洲本市アスパ五色パークゴルフ場でパークゴルフをプレーし、午後3時半から懇親会を兼ねて春吉で鱈の海鮮丼を堪能しながら、成績発表、賞品授与を行いました。

アスパ五色のコースは前回の夕日ヶ丘のコースよりグリーンに高低差があり、パットの力加減が難しく、失敗するとあつちに転がりこつちに転がり、グリーン上を右往左往する場面が散見されました。しかしその分、パットがうまく決まりホールを攻略できた時の気分は爽快でした。私のスコアはガタガタでしたが、コースを楽しみ、ラウンドできたと思います。パークゴルフは、ゴルフクラブ一本で老若男女問わず気軽にコースを周ることができ、グリーンまでの打ち方やパットの力加減など、いろいろな頭を使う初心者でも楽しめます。兵庫県下には加東

市と洲本市の二箇所しかパークゴルフ場がなく、こういう機会でもないとなかなか体験する機会も無いと思いますが、これから改めて挑戦し経験するにはとても良いスポーツだと思います。今回、団体のコンペと重なったため午後からの開催となり、午後3時30

分から食べるにはちょっと豪華すぎる食事になったり、成績上位の方々に淡路特産品の景品がダブって当たる事が多々あったりと、いろいろ課題も見つかりました。次回は、個人戦ではなくチーム戦も面白いのではと思っています。興味のある方は、ご応募ご参加のほどよろしくお願ひします。土井貴司(兵32淡路)



神戸 ゴムバンドを使って しなやかな身体を!

朝晩が涼しくなってきた秋晴れの10月6日(日)の午後2時から、神戸市長田区のJR新長田駅から徒歩10分又は神戸市営地下鉄駒ヶ林駅前にある、兵庫県立神戸生活創造センター内のスタジオを借りて、「健康しなやか体操教室」を20代〜60

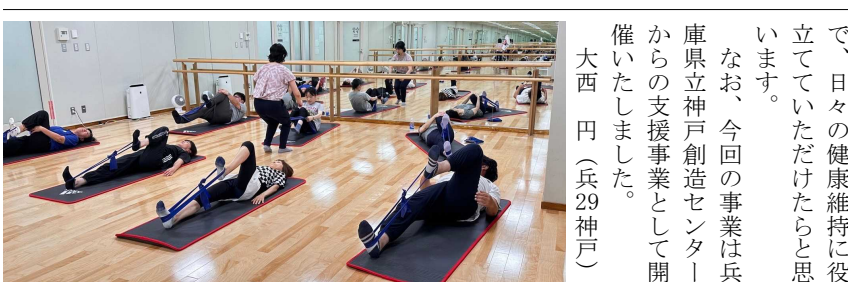
代の方に参加してもらい、開催しました。教室には健康運動指導士の飯高先生をお招きして、健康でしなやかな身体を作る体操を教えてくださいました。日頃使っていない筋肉を使うのできついなと感じる事もありましたが、先生のユーモアを交えながらのお話が楽しく音楽に合わせて



の体操でしたので90分間でしたがあつと言う間に時間が過ぎていきました。参加者の方からは以下のような感想をいただいています。「最近休日は身体を動かさないうちが多かったので本日は良い機会になりました。」「今後お風呂上がりや時間があるときにゴムバンドで身体をのばしていきたいと思います。」「楽しく身体を動かせました、ぜひ次回も宜しくお願いします。」「去年はゴムバンドをカバンに入れておぼろぼろだったので今年はずいぶん出して利用したいと思っています。」「とても身体がスッキリしています、ありがとうございます。」「ヨガマットもゴムバンドも用意していただけて、気軽に参加できました。自宅でもできる体幹トレーニングだったので、続けてみたいと思います。」「普段使わない所をゴムバンドを使って伸ばしたりとても気持ち良かったです。家でもできる内容だったので復習して年々衰えていく身体を少しでもくい止めたいと思います。」「

今回2回目の参加者の方もおられ、高評価をいただけました。教室中には水分補給の為にスポーツドリンクを用意することができた事と、身体を痛めないかと保険に加入していたのですが、無事終了できて良かったです。今回体操に使用したゴムバンドを家に持ち帰ってもらえました。まだまだ暑い日が続きますが室内でできる体操を教えてくださいたいので、日々の健康維持に役立てていただけたらと思います。なお、今回の事業は兵庫県立神戸生活創造センターからの支援事業として開催いたしました。大西 円(兵29神戸)

今回2回目の参加者の



イベント情報

最新の情報は、同窓会HPをご覧ください

【問合せ先】
本部事務局 : info@hyogo-yodai.net
阪神地区 : hanshin@hyogo-yodai.net

新春のついで

洋大50周年を終えて、
これからの10年は、

▼日時…1月26日(日)
12時～15時(受付11時30分)

▼会場…JR三宮グリーンハウス ヴェアルト

▼参加費…3千円

▼募集…50人

【問合せ】本部事務局

沖縄交流

2025年

沖縄県同窓会会員を
迎えて。

▼日時…2月8日(土)
10日(祭・月)

▼会場…兵庫県周辺

▼募集…沖縄地区会員5名、その他の地区会員15名

名程度
【問合せ】本部事務局



魅力探そう!

宝塚まち歩き

阪神地区恒例のまち歩き。今年には宝塚で行います。宝塚と言えば歌劇? 手塚治虫? お寺や神社? 限られた時間ですが、まち歩きで宝塚の魅力を探してみましよう!

▼日時…3月16日(日)
9時45分～16時

▼場所…阪急清荒神社駅周辺

宝塚駅周辺など

▼参加費…3千円(見学者、昼食代、保険代等)

▼募集…15人

▼締め切り…3月9日(土)

【問合せ】阪神地区

体感教室

いちご摘みとデザートづくり。

▼日時…3月9日(日)
9時30分～15時

▼会場…神戸市北区ふれあい会館周辺

▼参加費…3千円(大人2千円)(小学生)

▼募集…20人

【問合せ】本部事務局

第2回地区代表者会開催

黒豆の鞘が黒ずみ十分に膨らんだ10月下旬、京都丹波篠山において本年度第2回地区代表者会が開催されました。

初日の会議をユニトピアささやまにて開催。翌朝には、篠山城から篠山盆地を眺め、黒枝豆・栗・松茸等秋の特産物とスイーツが並ぶ通りを春日神社の9台の練り山車が目の前を通り過ぎる迫力を感じながら、買い物も満喫しました。人で溢れ返った老舗の黒豆店舗や無電柱化した伝統的建造物群保存地区の河原町妻入商家群のうだつの白壁風情を愉しみながら散策。最後に京都伏見稲荷社まがいの鳥居「まけきらい稲荷」で記念撮影。昼食では、猪肉入りそば等を啜りながら鯖寿司の老舗の味を堪能しました。

その日の各家庭の夕食では、ほくほくの蒸気した黒枝豆が食卓を彩っていたことでしょう。

方山 薫(勤4丹波)



受賞おめでとう

大西田さん



12月10日、兵庫県看護協会ハーモニーホールで開催された「令和5年度全県セミナー」において、青少年本部表彰が行われ、大西田さん(兵29神戸)が受賞されました。大西さんは、平成17年

第29回兵庫県青年洋大に乘船後、同窓会神戸地区で事後活動に努め、平成24年神戸地区副代表、平成30年に神戸地区代表に就任されました。神戸地区に於て「クリスマスリース作り」「クリスマスアレンジメント」「健康体操教室」等の新規事業の企画・運営を始め地域貢献型の事業を開始。青少年を対象とした様々な事業の企画運営を実施すると共に地域

社会における社会貢献事業(神戸マラソンボランティア、リア、リレー・フォー・ライフ事業等)を中心として活動されました。また、自らがスタッフ参加するだけでなく、事業推進のリーダーシップを発揮し、継続的活動の要である指導者養成に貢献し、同窓会活動で培った経験や人脈を通じた地域活動への取り組みは定評があり、地区代表者として神戸地区同窓会会員をとりまとめ、活動を展開する力は地元、地域貢献事業においても発揮されているとのこと。

編集後記

NHKの朝ドラ「おひすび」を観ている。糸島編を終え、いよいよ神戸編がスタートした。子供編の頃、神戸で震災を経験した主人公が神戸に戻ってきたという設定である。瓦礫や避難所のシーンが私自身の記憶も呼び起こす。

そうなのである。来たる1月17日、阪神淡路大震災から30年の節目となる。受け止め方は、人によって様々だろう。しかし当時学生だった私が定年を意識し始める程度に時が経っているのは事実である。

阪神淡路大震災以後も、1月の能登半島地震を始め多くの自然災害により、数多くの被害が発生している。県も、震災を「忘れない」「伝える」「活かす」「備える」そして「繋ぐ」ために、各種事業を展開している。記憶は風化する。どうすればそれを次代に伝えるのか。防災、減災に繋がられるか。

さて、神戸の雰囲気を感じながら、録画したおひすびを観てみるかな。山下剛史(近11神戸)

<http://hyogo-yodai.net/>

同窓会のホームページでは、事業の案内・報告など最新の情報を随時更新しています。また、Facebook、YouTubeにも随時、情報をアップしています。

ぜひ一度、下記のQRコードからアクセスし、のぞいてみてください。また、ホームページ等へ掲載して欲しい情報も募集中です。 info@hyogo-yodai.netまでご連絡ください。



Facebook

YouTube

ホームページ

あなたの洋大の歴史を同窓会でアーカイブします

これまで本部事務局では、こころ紙面でアーカイブデータを募集してきました。その結果、一部のアーカイブデータが集まりました。引き続きデータを集めるので、

【問合せ】本部事務局